公益社団法人 香南市シルバー人材センター

令和6年度事業計画

はじめに

人口減少、少子高齢化が進行する我が国において、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っております。そのため、地域の特色や実情を踏まえて積極的な取り組みを強化していく必要があります。

一方、全シ協では、新たな会員拡大計画「第2次会員100万人達成計画」を平成30年度に策定し、シルバー人材センター連合会等における取り組みの強化により、令和2年3月においては10年ぶりに会員数が増加に転じました。しかしながら、令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態に見舞われ会員数が大幅に減少し、当初策定した目標値と実態との乖離が大きくなりすぎ、一日も早く会員数をコロナ前の水準である72万人に回復させることを最優先課題とし、会員拡大に取り組みこととなりました。

さらに、少子高齢化の進行や、地域における人手不足、政府が進める高齢者就業施策の方向性を踏まえたうえで、令和6年度においても、会員拡大を核に捉えて、女性会員の拡大、企業退職者層への働きかけの強化、退会抑制、新しい生活様式に対応した多様な就業機会の開拓などを重点に、事業を展開したいと考えております。

また、会員の高年齢化、就業中の事故が多発しており、安全就業の徹底に向けた取り組みを強化するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止や健康確保などについて適切な対応を図りたいと考えております。

また、消費税のインボイス制度の導入がされたことによりシルバー人材センターが受ける影響は大きく、諸経費増大への対応や、デジタル社会の到来を念頭に置いて、全シ協はデジタル関連の就業機会の確保に加えて、スマホを活用した業務連絡やWeb入会システムの導入等デジタル技術を活用した業務の効率化を推し進めようとしており、その対応が求められています。また、今年の秋に施行が予定されている「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」(以下「フリーランス新法」という。)に適切に対応するため、シルバー事業における新たな契約方法も含め、対応策の検討をしていきます。このような情勢の中、香南市シルバー人材センターでは、シルバー事業のモットーである安全就業の徹底に向けた取り組みを強化し、重篤事故の発生ゼロを目指します。そして、県連合会と連携を図り、人手不足分野や子育て支援分野、日常生活支援などの分野の拡大等就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの実情を踏まえた取り組みの強化をしていきます。具体的には以下の取り組みを実施します。

【重点事項】

1. 会員の確保・拡大
2. 就業開拓の強化
3. 安全・適正就業

(1)会員の確保・拡大

会員の高齢化により退会者が後を絶たない状況の中、会員の協力を求めながら事務局が一体となって新たな会員確保に取り組みます。

- ① 香南市と連携し、人手不足分野等の就業希望者獲得のための担い手講習等の研修会を開催します。
- ② 市の広報紙やケーブルテレビを利用した広報活動を実施します。
- ③ サークル活動を活用した講習会を開催し、市民とシルバー人材センターとの交流を図ります。

(2)就業開拓の強化

現役をリタイアされた高年齢者の受け皿となる為には、高年齢者が働きたいと思える就労を準備することが大事であり、地域の実情に応じた多様な就業機会の確保に努めます。

- ① アンケート等により希望の就業を調査し、会員等の就業ニーズに合った就業開拓に努めます。
- ② 会員の協力を得ながら地域需要を収集し、就業の確保を図ります。
- ③ 香南市と協議し、市民の生活支援に係る業務の開拓に取り組みます。

(3)安全・適正就業の推進

適正な受託事業を確保する中、「香南市シルバー人材センター安全就業基準」の周知を徹底するとともに、引き続き安全就業に係る研修会を実施し、会員の意識向上を図り、就業に伴う事故の未然防止に努め重篤事故ゼロに取り組みます。

- ① 安全・適正就業委員会で「作業別安全基準」の見直しや会員への周知徹底を図ります。
- ② 安全パトロールチェック項目に基づき、月1回の安全パトロールを実施し、会員の安全就業への意識の向上に努めます。
- ③ 適正就業から逸脱した就業とならないようローテーション就業を実施すると共に、請負の方法を検討し、コンプライアンスの徹底に努めます。

(4)組織運営の強化

「安全・適正就業委員会」「普及啓発委員会」「就業開拓委員会」の専門委員会の機能強化を図ると共に、地域班や職群班の体制整備を行い、スムーズな連携・協力が得られるように努めます。

また、各サークル活動を支援し、会員間の交流を図り、シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき組織運営体制を構築します。

(5) 普及啓発活動の強化

シルバー人材センターの活動の趣旨や事業内容について、広く市民の方に理解していただき、協力が得られるようにあらゆる機会をとらえて普及啓発活動を実施します。

- ① 市の広報・ケーブルテレビを通じて活動や業務内容のPRに努めます。
- ② イベントへの参加を通じてシルバー事業のPRを行います。
- ③ 香南市シルバー人材センターのホームページを充実させ、活動内容など情報発信に努めます。
- ④ シルバー人材センターの業務内容等のチラシを配布し、市民への周知に努めます。
- ⑤ 会員への啓発及び会員間の交流のため、機関誌「シルバーだより」を発行します。

(6) 地域ネットワークの形成

香南市や関係諸団体と連携し、地域が抱える課題解決に積極的に取り組んでいきシルバー人材センターの新たな活動の領域を切り開いていきます。

(7) 人材育成事業の推進

地域から信頼を得、シルバー人材センターを発展させるためには、顧客満足の上昇が必要です。そのためには会員の技術、技能及びマナーの上昇が不可欠です。今後とも人材育成に取り組んでいきます。

- ① 会員の技能・技術講習への参加を促進します。
- ② 会員のデジタル技術を理解し、活用する能力の上昇の研修会を開催します。
- ③ 安全・適正就業講習を実施します。
- ④ 派遣研修を実施します。
- ⑤ 全シ協・県シ連・四国ブロック主催の講習会へ参加します。
- ⑥ 事務局職員のスキルアップのための研修会に参加します。

(8) デジタル技術の理解活用の向上の取り組み

国が推進しているデジタルを前提とした次の時代の新たな社会基盤を構築するというデジタル社会の到来を念頭に置いて、デジタル関連の就業機会の確保に加えて、スマホを活用した業務連絡やWeb入会システムの導入等デジタル技術を活用した業務の効率化、このための基盤整備として、会員のデジタル技術を理解し活用する能力の向上に取り組めます。

(9) 諸会議・行事の開催

香南市シルバー人材センターの維持・活性化のため次の諸会議及び行事を行います。

定時総会	年 1 回
理事会	年 4 回
三役会	随時
安全・適正委員会	年 2 回
普及啓発委員会	年 2 回
就業開拓委員会	年 2 回
安全パトロール	年間 12 回以上
安全・適正就業強化月間	7 月
普及啓発促進月間	10 月
ボランティア活動実施	年1回以上
普及啓発事業 イベント出店	年 4 回程度